全国 保健師長会

ごあいさつ

たりごあいさつ申し上げます。 全国保健師長会は、 全国保健師長会会長の就任にあ 昭和54年3

来その精神の下、 者が一丸となってその目的を達成 健師の機能を十分発揮して、地域 てきています。 織となり、活動体制も年々充実し であった会員が、 する」と記されています。発足以 め保健婦業務の指導的立場にある 住民の健康保持増進に寄与するた 月22日に発足し、 10倍以上の5210人を数える組 ゝます。当時の設立趣意書には「保 平成27年度には 今年で37年にな 当時は512人

この37年間に時代は大きく変わ

時代に突入しています。2025 類を見ない少子高齢化・人口減少 年には、団塊の世代が全員後期高 りました。現在の日本は、 保健師長会会長の 65歳以上の高齢者は 日 全国保健師長会 会長 最高レベルに達し、 幅に改善して、 その結果、

青柳

備える10年間がスター ければならないと考えています。 を、保健師はしつかりと認識しな なければなりません。そのことに 本の姿を現実の問題として直視し 国民の3分の1に達するという、 齢者となり、 トしたこと

組んできました。 地域の健康課題解決に真剣に取り 生活実態の変化に対応し、 たち保健師は社会の要請や住民の をめざした母子保健活動など、 感染症対策、乳幼児死亡率の低下 返ってみると、結核を中心とした これまでの保健師活動を振り

身世帯、 おり、 住民の健康状態にも影響を与えてが深刻化しています。このことは の脆弱化が問題となっています。がりの希薄化、地域コミュニティ 加や家族機能の低下、 国民医療費の社会保障給付費が増 り上げられています。年金給付や の問題として大きく健康政策に取 き、所得格差の拡大や貧困の問題 また、経済も振るわない状況が続 や地域コミュニティを見ると、 うになりました。一方、 活習慣病が全体の6割を占めるよ 格差社会における健康格差 特に単身高齢者世帯の増 国民の健康状態は大 平均寿命は世界の 地域のつな 家族形態

> ます。 ことが重要な政策課題となってい きる社会保障制度を構築していく

再興感染症、 専門性の高い活動がますます求め 康危機管理への対応や虐待防止対 新たな健康課題も増えており、 環境においては、自然災害や新興・ られています。 ムの構築など、地域特性に応じた 近年、 さらには地域包括ケアシステ 自殺予防対策、 私たち保健師を取り巻く 疾病構造の変化など 生活習慣病対

伸」を目標とした、 興戦略では、「国民の健康寿命の延 すべきビジョンが示され、 めざす社会像として「予防から治 「保健医療20 2035年の保健医療の達成 35提言書」で 2030年の 日本再

た経験と公衆衛生看護の技術を生 たち保健師は、これまで培ってき した。この目標達成に向けて、 、サイクルの確立」が掲げられま 早期在宅復帰に至る適正なケ 積極的に取り組むべきであ 私

様な機関との連携を強化し、PD が私たちの使命です。 公衆衛生看護活動を展開すること CAサイクルに基づいた主体的な るまちづくりをめざし、保健医療 人々が、安心して健やかに暮らせ あらゆる世代や健康レベルの 産業、 教育分野などの多

強化しながら、 材育成を推進していきます。そし 的な取り組みを積極的に行い、 師の成長を支援していきます。 めざし、組織としてのつながりを るよう、各ブロックの研修や研究 つ質の高い保健師活動が展開でき 全国保健師長会では、 いきいきと活力ある保健師を 次世代を担う保健 効果的か

を活動テーマとして掲げ、「専門性 医療・福祉をつなぎ安心して健や き合う保健師活動の展開~保健 平成28年度は、「社会の課題に向

> 体における災害時対策の取り組み る保健師活動の可視化及び各自治 期的な展望に立った被災地におけ 「ブロック支部活動の強化」「中長 柱で活動を推進していきます。 の推進」「会員数の拡大」の4 い公衆衛生看護活動の強化 うの

取り組んでいきます。 ことを重点的に、 健師活動指針の作成を支援する」 こと、「各自治体の特性に応じた保 配置を推進し、役割を確立する」 任をもった活動を強化する」こと、 「統括的な役割を果たす保健師の 具体的な活動として、「地域に責 ブロック別研修会等の中で 各部会や特別委

推察されることから、 岐にわたる課題を抱えていると 実が復興の重い足かせになってれ、全国の先を行く人口減少の現 活動を展開している保健師は多 うな地域の現状で公衆衛生看護 から仮設への転居も余儀なくさ や土地造成は想定より遅れ、 本大震災から丸5年が経過しま いる状況も聞いています。 くりを進めている中で、 した。被災地では、新しいまちづ また、平成28年3月11日で東日 住宅再建 このよ 仮設

> 行っていきます。 に保健師活動の課題を明らかには被災地の長期化する健康課題 していく、 研究的な取り組みを

役割と責任は重いと認識していま を生かした組織力とネットワー くとともに、 す。今後はさらに会員数の拡大を 会としても、 は、これからの保健師活動に大き で結成された組織です。 浦々の自治体の保健師のリ いります。 ながりを強化する体制を築いてま な影響を与える力となると考え、 全国保健師長会は、 会の活動を充実強化して そこで果たしていく 会員一人ひとり この強み

員の皆さま一人ひとりの意見を尊 発展に尽力したいと思います。 重し、多くの関係機関・団体の皆 国保健師長会の活動を継承し、 保健師の方々が築いてこられた全 まる思いですが、 さまと連携を図り、 大役を仰せつかり、 歴代会長や先輩 保健師活動の 身の引き締

今後とも、 関係諸氏のご指導、ご鞭撻を 会員の皆さまをはじ

全国保健師長会では、広く会員内外の皆さまに会の活動や保健福祉業務に有益な最新情報を発信するた め、ホームページを開設しています。ぜひ、ご活用ください。

また今後とも、より充実したホームページになるよう努めていきたいと考えておりますので、会員なら びに全国の保健師の皆さまのいっそうのご理解、ご協力をお願いいたします。

全国保健師長会ホームページのご案内

http://www.nacphn.jp/

35 公衆衛生情報 2016.4